

映画「片袖の魚」～セクシュアル・マイノリティについて考えましょう～

自分を不完全な存在だと思い込み、自信を持てないまま社会生活を送るひとりの
トランスジェンダー女性が新たな一歩を踏み出そうとする物語。

※セクシュアル・マイノリティとは性的少数者のことです。

参加費
500
円(コイ)

どなたでも
・
託児付

ずっと、
わたし

Copyright©2021 みのむしフィルム

片袖の魚

The Fish with One Sleeve

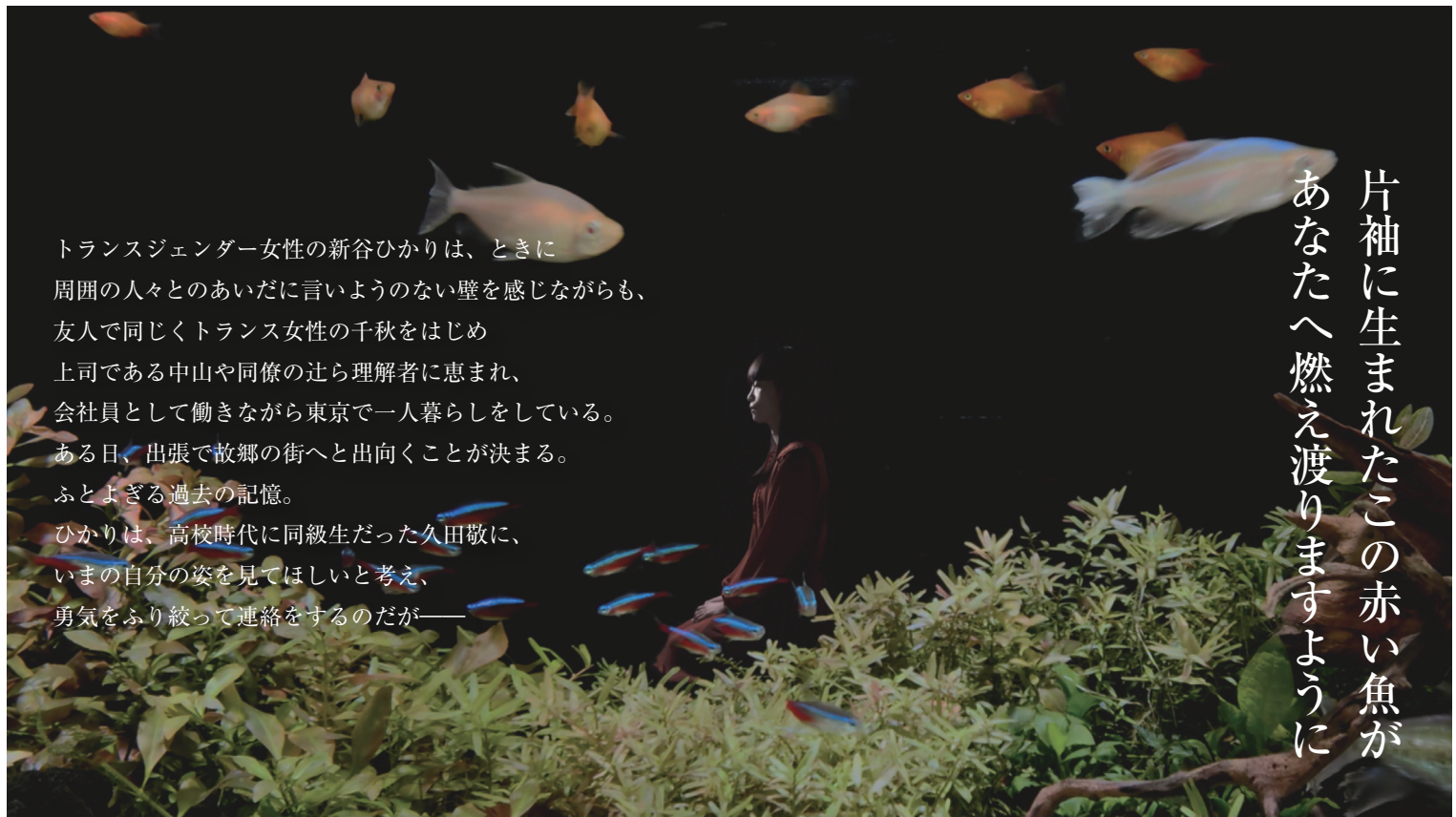
トランスジェンダーのささやかながらも
確かな一歩を刻む 34 分。
わたしがわたしを生きる物語

原案：文月悠光「片袖の魚」 プロデューサー・脚本・監督：東海林毅

2025年 **11月29日(土)** 13:30～15:20 開場 13:00～

会場：イーブルなごや 3F ホール (名古屋市中区大井町7-25、TEL052-331-5288) 参加費：500円 (先着順・事前申し込みが必要)

定員：150人 (申し込み方法は裏面参照) ※託児あり (定員 20人・40円) 託児申し込み締切日 11/22 (土)



片袖に生まれたこの赤い魚が
あなたへ燃え渡りますように

トランスジェンダー女性の新谷ひかりは、ときに
周囲の人々とのあいだに言いようのない壁を感じながらも、
友人で同じくトランス女性の千秋をはじめ
上司である中山や同僚の辻ら理解者に恵まれ、
会社員として働きながら東京で一人暮らしをしている。
ある日、出張で故郷の街へと出向くことが決まる。
ふとよぎる過去の記憶。
ひかりは、高校時代に同級生だった久田敬に、
いまの自分の姿を見てほしいと考え、
勇気をふり絞って連絡をするのだが――

自分を不完全な存在だと思い込み、自信を持てないまま社会生活を送るひとりの
トランス女性が新たな一歩を踏み出そうとする――。

そんなささやかな瞬間の物語を、詩人・文月悠光の詩を原案として、ゲイ老人の性と
苦悩を描いた『老ナルキソス』(2017) がレインボーリール東京や上海クィア映画祭などで最高賞を獲得し、
以降に監督した作品も世界のLGBTQ+映画祭で高い評価を得ている東海林毅が丁寧に映像化した。
制作開始にあたっては、日本で初めてとなるトランスジェンダー女性の俳優オーディションを開催。
多数の応募者の中から主役に選ばれたのは、ファッションモデルとして活躍しているイシヅカユウ。
これが映画初主演であった。



● プログラム 上映前 映画紹介 (10分)

映画上映 「片袖の魚」 (34分) 日本語字幕付き

意見交換会 解説・意見交換会 (55分)

● コーディネーター NPO法人PROUD LIFE 副代表理事 風間 孝 (中京大学教授)

申し込み方法
先着順

①電話 052-331-5288

②イーブルなごや窓口

③イーブルなごやホームページ (<https://e-able-nagoya.jp/>) に
アクセスし、講座案内の「インターネットで申し込む」から

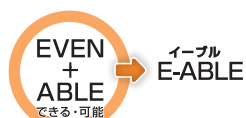


映画「片袖の魚」

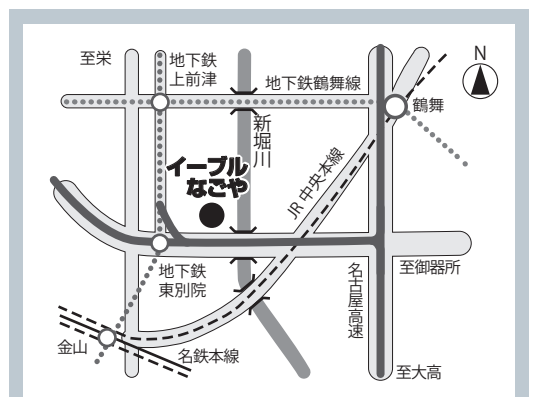
～セクシュアル・マイノリティについて考えましょう～

<https://e-able-nagoya.jp/lec/24246/>

※講座の中止及び日程・内容・講師等が変更になる場合があります。※傷害保険等の設定をしておりません。必要な方は各自でご加入ください。
※発熱などの症状がある方、体調不良の方は受講をご遠慮ください。



男女平等参画と女性教育の連携で いい関係・みんなで笑顔



地下鉄 名城線「東別院」下車①番出口 東へ徒歩3分
市バス 金山26系統「大井町」バス停前、
昭和巡回系統「大井町」バス停前

名古屋市 男女平等参画推進センター・女性会館
TEL(052)331-5288 FAX(052)322-9458